

新しい市役所本庁舎のお知らせ

市民との協働による魅力ある新庁舎づくり

これまで市民自治推進委員会や各町内会等をはじめとした多くの団体の皆様、市議会等との意見交換をしながら作成した『本庁舎建設基本設計書（案）』は、3月6日（月）までパブリックコメント（意見公募）を実施しています。『本庁舎建設基本設計書』はこのパブリックコメントを経て今年度中の完成を予定しており、完成次第、市公式ウェブサイトなどで公開しますので、ぜひご覧ください。



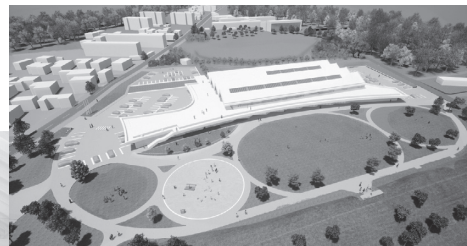
◀パブリック
コメント
意見提出
フォーム



問い合わせ
本庁舎整備推進グループ
（☎571 098）



◀最新
情報は
こちら



◀新庁舎の透視図の一部

現在の市役所庁舎跡地の利活用について

市役所庁舎を令和8年度中に旧陸上競技場敷地に整備し移転することから、現在の庁舎跡地の利活用を含めた中央地区のまちづくりを協議するため、『登別市中央地区まちづくり協議会』を設置したほか、次代を担う若い世代のまちづくりに関する意見や要望などが反映できるよう、ワーキンググループと学生委員会を新たに設置しました。

現在、中央地区のまちづくりの根幹となるコンセプト（目指すべき方向性）を決めるため、学生委員会の意見を聞きながら、ワーキンググループで具体的な協議を進めています。

協議の内容は、市公式ウェブサイトに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



▲学生委員会の様子

私たちの

SDGs

問い合わせ 企画調整グループ（☎51122）
～17の目標達成に向けた取り組み～

SDGsにつながる取り組みの紹介

スノーキャンドルナイト in Noboribetsu

2月18日・19日の2日間、登別温泉街の泉源公園でスノーキャンドルナイト in Noboribetsuが実施されました。

このイベントでは、登別温泉の宿泊施設で排出された廃油を再利用して制作したリサイクルキャンドルなどを展示し、会場を訪れた方たちに、キャンドルをともしてもらおうというものです。

普段の生活ではなかなか意識することが難しいSDGs。雪の中でリサイクルキャンドルの明かりを楽しむことで、興味・関心を持つきっかけになったのではないのでしょうか。

このイベントを運営した実行委員の1人は、「観光客だけではなく市内の子どもたちもたくさん来てくれたので、登別温泉をもっと身近に感じてもらえるイベントになりました」とうれしそうに話してくれました。

SDGsは、2015年9月に国際サミットで採択された『誰一人取り残さない、持続可能で、より良い社会』の実現を目指す世界共通の目標です。

2030年までに17の目標を達成し、より良い未来を築くことを目指しています。

市は、かけがえのない地球環境を守りながら、誰もが自分らしく、住みやすい社会の実現に向け、福祉、環境、経済、教育などさまざまな分野の施策を通してSDGsを推進しています。



◀今回の
主な目標



▲イベントの様子